

連絡先 044-922-9391 (アートフレンズ・奥川) / 047-485-4866 (アクティブライフ・鈴木・椎名)

映像ビジネスの明日を求め 地域を越えて、競合から協調へ

ベテランから初心者まで、また関連業の方・映像制作に関心のある方の参加も歓迎します

◆定例会

原則として、毎月第2週目の平日19時より日暮里サニーホール(真面目)にて開催しています。会の議事決定のみならず、気軽な情報交換の場ともなっています。

◆研修会

2000年は「営業」をテーマとした一泊の会合を9月に千葉県御宿にて開催。「職業としての映像制作者とは何か」を追究する、我々の会ならではの研修です。和気あいあいとした研修会を兼ねてのこの研修で、ヒントを見つけ確実に増加に結びつけている方もいます。

◆ビデオ制作 & 新規開業講座

現在は、定例会の前半に試験的に催している形ですが、Vビジネスの事業として開催していくことも検討中です。

◆相互協力

ダブルの代行、人手が足りないときの協力、機材の貸し出しなど、ギブアンドテークの関係で活発化しています。

◆ビデオライブラリー発刊

会員のみ購入できる限定制作物ですが「一人2カメのスタイルと方法」「ビデオアルバムのご案内」など4種のビデオを頒布。今後も、継続的に増やしていく予定です。

◆ホームページ公開

インターネットが本格的に映像対応となれば、我々の仕事の任り様もガラッと変わっていくでしょう。我々のホームページは、それに備えての場でもあり、遠隔地の会員と結びつくツールでもあります。

◆機関紙発行

年6回発行の「VIDEO MAN BIZNET NEWS」は、定例会の内容を出席できなかった方々に報告する、重要な媒体です。ほかにも会員の紹介やホットな話題の掲載で、会の潤滑油的な役割を果たしています。

◆親睦会

要するに飲み会なのですが、定例会の後のお楽しみです。といっても、実はこの会が一番盛りあがるものだったり、感動のいい話、失敗談などが毎回飛び交っています。

マルチメディア・インターネット・デジタルエレクトロニクス…時代のキーワードをポジティブに読むと、ビデオの明日が見える

▲「ビデオマン・ビズネット」のパンフレットから。協同組合というより、ビジネス情報の交換や研修などを行う協定型「同業者組織」を目指している。

世界的な規模でますます昏迷を深める経済情勢の中、個人もしくは数人規模のビジネススタイルが注目されています。しかし身軽さゆえの機動力、融通性の反面、組織として動けない非力さ、ダイナミズムの欠如の如い状況ではありません。そのことは、私たちビデオ業を営む者も同様です。そこで、各々の独自性を尊重しつつもネットワークを組み、共通の課題に対処していこうと発想し、具体化したものがこの「ビデオマンビズネット」です。同時に後進の指導、新規事業者の迎え入れも視野に入れ、地域、世代、ジャンルを超えた活動を展開していきます。



- ① 撮影や編集の代行
- ② 現場の応援
- ③ 機材等の貸し借り
- ④ 情報交換
- ⑤ 営業法の研究
- ⑥ 新発想のビジネス創出
- ⑦ 新規開業者への支援
- ⑧ 会員間の親睦、等である。

「ビデオマン・ビズネット」は、上記諸問題を全国規模で打破していこうと、ビデオ制作に関わりのある個人事業者・小規模法人・フリーランスの方が集まり、約5年前に結成された。主要目的と活動は、

個人事業者のための 組織作りを目指して

もちろん、個人事業だからといって同業との横のつながりが皆無だという人は稀で、一定の仕事仲間がおられることだろう。ただ、私の経験上から言わせていただくと「馴れ合い」の悪しき側面が業務上のマイナスタとなつて作用する場合もある。また、その仲間以外との関係や外部情報が、逆に疎くなる傾向もある。

同様の趣旨で動く組織とも 協調していきたい

現在の正規会員数は19名(個人の自由意志を縛り付けない会則なので人数は流動的だが)で、首都圏を中心としつつ東北・北越・関西方面の方にも加入していただいている。

目下の課題の一つとして、遠隔地の方にも入会メリットを得ていただき、距離を超えた交流を図ることがあげられる。世はまさにブロードバンドの時代、必ずや問題解決していきけるものと思う。その点も含めて、積極的な提案や意見をお持ちの入会者が現れることを期待している。お互いが協力しあうとしていきたいと思います。

ビデオを仕事にする。 ビデオでビジネスを始める。

PART2

本誌8月号で掲載した「ビデオをビジネス」に多くの反響をいただいた。これをきっかけに、「ビデオでビジネス」に取り組み始めた人も実際に生まれている。今回は、その第2弾。「ビデオでビジネス」を継続していくために、情報交換や仕事のノウハウを共有する組織とそのメンバーの仕事ぶりを紹介する。

▼幼稚園の「お泊り保育」に同行し、記録する谷口さん(P128参照)。親には撮ることの出来ない園児の貴重な表情が、映像に記録されていく。



独立系ビデオマンが協力し合う場 「ビデオマン・ビズネット」

ビデオマン・ビズネット会長
奥川薫(アートフレンズ)

各地の電話帳から「ビデオ制作」のページを開いてみると、都市部を中心におびただしい数の業者がいることがわかる。その全国的総数を調べたわけではないが、非掲載の業者も含めると驚くべき数になることだろう。

現在の正規会員数は19名(個人の自由意志を縛り付けない会則なので人数は流動的だが)で、首都圏を中心としつつ東北・北越・関西方面の方にも加入していただいている。

筆者の奥川さん。専門分野は「舞台撮影」。「地域を越えて、競合から協調へ」が会の合言葉

